

会議録（書面開催結果）

- 1 会議名 第4回北九州市次期教育プラン検討会議
- 2 会議種別 市政運営上の会合
- 3 議題 次期「北九州市教育プラン（案）」について
- 4 開催日時 令和6年5月8日（水）
- 5 開催場所 書面開催
- 6 構成員意見（構成員名簿の順に記載）
 - 窪田構成員
これまでの議論が反映されたプランとなっていると思います。異論ございません。
 - 鶴見構成員
私の意見もうまく取り入れていただきありがとうございました。プランはうまくまとまっていると思います。私からは特に意見等はございません。
 - 眞鍋座長
次期教育プランの最終案の内容については異論がありません。
しかし、これを実際に教育現場に落とし込み方が非常に重要になってくると考えます。このままだと、単に「上から降ってきたもの」「また新しいことをやらなければならない」という発想になってしまいます。
そのようにならないために、実際の導入に際しては、現場教員の心理的・時間的余裕を確保することと、教師としてのミッションを再定義することが重要だと考えます。
前者は、学校外のリソースとつながりやすくなる仕組みや機会の開発が重要です。教員は外部リソース情報に乏しいようです。次に、ICTの積極的な導入です。ハード・ソフト両面の無理のない、効率的な導入です。また、やらなくてよいことを定義し、思い切って捨てる勇気とそれが可能となる雰囲気づくりを工夫する必要があると考えます。
後者は、目前の仕事に集中しすぎるために、教師としての誇りや使命を忘れがちになります。それを再確認するためのフラットな機会を創り出すことが重要になってくると考えます。

○ 宮口構成員

今までの意見が反映されており、新たな追加意見はございません。

全体の印象として、教育大綱 5「地域とのつながりの・・・育てる」つながりという言葉と内容はとても大切です。どこかに「人とのつながり」という文言が入っているとより、従来よりウェルビーイングを構成する要因として重視されてきた内容ですのでイメージしやすいと思います。例えば、「さらにこうした地域とのつながりが・・・」⇒「さらにこうした地域・人とのつながりが・・・」のようなイメージです。以上のみ考慮いただけましたら幸いです。

○ 上田構成員

課題を踏まえて、良くまとまっていると感じます。構成員の意見も反映されて好感が持てます。然し、全ての課題・取り組みがてんこ盛り感もあります。

アンケートは考えさせることがあり教育現場の匂いがして、参考になりました。

- ・子供が楽しいと感じるのは、行事・色々なことを体験できる、そして友達と仲良く過ごせる場所を学校に期待していると感じました。この辺りに、楽しく学校を存立させる視点があるのでしょうか。ひとりも取り残さない楽しい学校にするには、この辺りに工夫必用であり、地域・企業にも支援が出来るような感じがします。

- ・教職員の解答では、劣っている点でコミュニケーション力が 25.3%と高いポイントとなっています。企業としては、組織を維持するには体力・学力低下よりこの点が最も重要であると考えます。コミュニケーション力は、学校での友達・先生・目上・目下の集団活動の中から育まれるともものと思います。また、大人との会話も育成には大切ではないでしょうか。

地域・企業を巻き込む視点は大変良いと思います。只、地域・企業に学校経営の中で、何を期待しているのか検討しておく必要があると思います。効率効果を追求する為に、ある程度の組織も視野にいれておく方が良いと感じています。

教頭先生を学校経営のトップとして明確に位置付けることは非常に良いと思います。

- ・どの様に、校長職を果せる先生を育成するか
- ・民間人では難しいのか
- ・変化が激しい環境には専門的なアドバイザーの存在が必要ではないかと思えます。
- ・学校経営の成果を上げるには校長先生の在任期間の長期化(5年程度)が必要ではないか。

既存の制度を必要に応じて、大胆に変更することも大綱の意思として記載されてよいのではないのでしょうか。

全体として俯瞰した場合に、この大綱案から強調できるポイントを作る必要があると思います。

(1) 今回の大綱(案)で訴える北九州ならではの特色。

(2) 市長の施政方針を稼げる・彩る・安らぐあるいは、一步先の価値観と整合。

(3) 稼げる街として、企業誘致を実行して、且つ、人口増加を考えるなら、家族帯同が必要であり且つ、その定着まで視野にいれる必要があります。他府県の人に、特に都会に住む人に「成る程」と思っただくポイント。

○ 友納構成員

① 内容について

今までの議論を記載していただいていると思います。ありがとうございました。

② 児童生徒性暴力について

こどもへの暴力は様々ありますので、「不登校やいじめ、さまざまな暴力や虐待、ヤングケアラー、貧困・・・」などされるのがいいのでは、と思いました。

○ 泉構成員

これまでの議論を網羅して、プラン案をお取りまとめいただき、誠にありがとうございました。次期教育プランの内容について、異論ございません。

7 問い合わせ先

教育委員会総務部企画調整課

電話番号 093-582-2357